

QuickTox SV アフラトキシン (50)

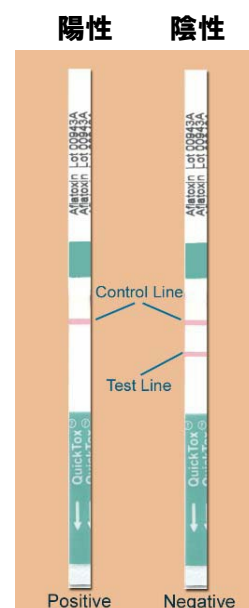
アフラトキシンは主に熱帯地方に生育するカビ *Aspergillus flavus* などにより産生されるマイコトキシン（カビ毒）の一種であり、発ガン性を有することから、食品・飼料への汚染について世界的に監視・規制されています。日本においても食品中で総アフラトキシン濃度 10ppb、配合飼料中で 10~20ppb と上限基準値が通知されています。

QuickTox アフラトキシンキットは、遺伝子組換え作物 GMO のテストで世界的に著名な EnviroLogix 社が開発したラテラルフローテストで、コーン中のアフラトキシンを目視により 10ppb および 20ppb 基準でスクリーニング判定ができます。

ラテラルフローテストでは、専用のスキャナリーダーシステムを用いてアフラトキシン、オクラトキシン、フモニシン、DON、ゼアラレノン定量できる QuickScan システムも用意されています。

(製造：EnviroLogix Inc. 米国)
ver.AQ201BGE (rev.2023/12)

商品名	QuickTox™ SV アフラトキシン EtOH 50 本 (3245EL1025)
価格	税別 54,000 円/キット
保管条件	冷蔵 2~8℃、湿気厳禁
製品内容	ラテラルフローストリップ 50 本 (耐湿容器) 反応容器 50 個、試料用スポイト 50 個
目的・用途	トウモロコシ中のアフラトキシンの目視定性 スクリーニング検出
原理・性能	ラテラルフロー（イムノクロマト）法 10ppb ないし 20ppb
前処理	20 メッシュ相当まで破碎・均一化した試料に対し 4 倍量の 50%エタメタノール水を加え高速シェーカーで 30 秒間激しく振とうし、静置、上澄みを試料液とする。
操作	ラテラルフローストリップの操作（室温に戻してから必要なストリップをとる） ①反応容器に水と試料抽出液をそれぞれ 100μL ずつ加える。 ②カップ内をよく混ぜてから、ストリップ下端を浸す。 ③5 分後にテストラインの呈色を目視で確認する。 テストラインが呈色しない=20ppb 超の陽性と判断。※
他に必要な試薬器材	水、ミキサー・ミル 1 式、マイクロピペット フタ付きジャー、タイマー



※Test と Control のライン 2 本が明瞭に現れれば 10ppb 未満。この場合約 2~3 分で判明します。